

国内の主な感染症一覧

感染症名	原因物質	主な症状	感染力の強さ・その他情報	最新情報 (2012年12月末時点)	流行時期	アルコール消毒効果	次亜塩素酸ナトリウム消毒効果		
比較的昔からよくある定番の感染症	季節性インフルエンザ	ウイルス インフルエンザウイルス	発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛	感染力が強い。肺炎や脳症などの合併症があり重症化することも。ワクチンで防ぐことができる唯一のウイルス性呼吸器感染症。	2005年以降、沖縄では例年6～8月に流行。県内全域での注意報発令・一部地域での警報発令や、学級閉鎖が相次ぐ。	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
	咽頭結膜熱(プール熱)	ウイルス アデノウイルス	発熱・咽頭痛・結膜炎	感染力が強い。ウイルスの活動時期は通年だが、プールを介して感染することもあるため、夏場に流行しやすい。		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
	はしか	ウイルス 麻疹ウイルス	発熱・発疹	感染力が強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ必ず発症。一度かかると二度とかからない免疫(=終生免疫)ができる	2007～2008年、10～20歳代で流行。以降は減少中。国際的には、天然痘同様に根絶のため、予防接種等の取り組みが実施されている。	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
	水ぼうそう	ウイルス 水痘・帯状疱疹ウイルス	発熱・発疹・倦怠感	感染力が強く、家族内での感染率は80～90%。一度かかると二度とかからない免疫(=終生免疫)ができる。		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
	風しん	ウイルス 風疹ウイルス	発熱・発疹・頸部リンパ節腫脹	感染力は、はしかや水ぼうそうほどは強くない。一度かかると二度とかからない免疫(=終生免疫)ができる。	1999年以降流行はなくなり、数を減らしていたが、2012年に関西で成人男性を中心に流行。	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	ウイルス ムンプスウイルス	頬の痛みと腫れ・発熱など	感染力は弱い。一度かかると二度とかからない免疫(=終生免疫)ができる。		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
	ロタウイルス感染症	ウイルス ロタウイルス	下痢・嘔吐・発熱(ノロウイルスより重症度が高い)	感染力が強い(多くの食中毒は100万個以上で感染するとされているが、100個程度で感染することも)。発展途上国では小児死亡原因の主要病原体。		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
	サルモネラ感染症	細菌 サルモネラ菌	下痢・嘔吐・発熱	腸炎ピブリオとともに、1位2位を争う代表的食中毒原因菌。犬猫は3～10%、牛豚鶏は10～30%、亀は50～90%の割合で感染しているとされる。	厚生労働省は2005年、サルモネラ対策として、亀をはじめとする八虫類の取扱いに注意喚起を実施。以降もペットを介しての感染事例が増加中。	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
腸炎ピブリオ感染症	細菌 腸炎ピブリオ菌	下痢・嘔吐・発熱	サルモネラとともに、1位2位を争う代表的食中毒原因菌。短時間で増殖。		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○		
近年メディアで例年話題になる感染症	新型インフルエンザ	ウイルス 新型インフルエンザウイルス	発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛等	免疫を持たないヒトが感染すると、爆発的に感染が広がるパンデミックになる可能性も。ただし2009年流行した型は、重症化はみられなかった。	2009年流行した新型のインフルエンザ(H1N1)は、2011年4月以降、季節性インフルエンザとして取り扱われている。	不明		○	○
	ノロウイルス感染症	ウイルス ノロウイルス	下痢・嘔吐・発熱	感染力が強い(多くの食中毒は100万個以上で感染するとされているが、100個程度で感染することも)。	2012年12月、遺伝子変異したノロウイルスを確認。現在、ノロを中心とする感染性胃腸炎患者数は、過去10年の同時期で2番目に多い水準。	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
	O157、O111など	細菌 腸管出血性大腸菌	下痢・嘔吐・発熱	感染力が強い(多くの食中毒は100万個以上ないと感染しないとされているが、100個程度で感染することも)。75.1℃以上の熱に弱い。		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
	MRSA	細菌 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	下痢・嘔吐・発熱	人の体に常在する細菌。抗生物質が効きにくく、薬剤耐性がある。院内感染の原因の首位を占める。		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
2012年急増した感染症	RSウイルス感染症	ウイルス RSウイルス	鼻水程度から気管支炎・肺炎までさまざま	年齢問わず感染するが、初めて感染する小さい子どもは重症化しやすい。	2011年～2012年急激に流行。	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	○	○	
	マイコプラズマ肺炎	マイコプラズマ・ニューモシシト菌と細菌の間で位置する病原体。自己増殖可能。	発熱・頭痛・咳・全身倦怠	重症肺炎や胸膜炎に進行したり、中耳炎、心筋炎、脳炎、肝炎、髄膜炎などの合併症の可能性もある。	2011年～2012年急激に流行。従来の流行の時期とずれている。薬剤耐性を持つ変異タイプが流行しているもよう。	例年11月・12月流行だが、2012年は6月から流行。過去10年間で最多の感染者数記録(2012年12月中旬現在)。	11月 12月	○	○
<参考> 今後の動向が危惧される感染症	重症急性呼吸器症候群(SARS)	ウイルス SARSウイルス	発熱・咳・呼吸困難など	2002年11月中国で発生、2003年7月制圧宣言が出されるまでの間に、8,098人が感染、774人が死亡。空気感染の可能性も否定できていない。	2012年9月、SARSに似た新型ウイルスが見つかり、WHOが注意喚起。3カ国で9人が感染、死者5人。	不明		○	○